

GVHD 予防試験に適した複合エンドポイントの検討

日本造血細胞移植学会一元化データを用いた後方視的解析

研究対象：

2000年1月1日～2013年12月31日に日本で同種造血細胞移植を受けた患者さん

研究の概要：

本研究は、日本で同種造血細胞移植後を受けられた患者さんが重症の急性・慢性移植片対宿主病(GVHD)無く生存される確率に関して詳細な予後因子や治療後の合併症(感染症など)などを解析します。

研究の意義：

今回の研究結果は同種造血細胞移植後の重要な合併症である急性・慢性 GVHD を予防するためのより良い治療戦略を確立するための一助になると考えます。

目的：

日本で実施された同種造血細胞移植後の重症の急性・慢性 GVHD を起こさずに生存される確率を移植の種類ごとなどに検討します。

方法：

患者さんの背景、移植方法、GVHD 症状の詳細及び治療成績について日本造血細胞移植学会に全国一元化データベースとして蓄えられた匿名化情報を用います。いずれの情報もすでに収集されているので、この研究のために新たに患者さんに検査を行うものではありません。

せん。また、全国一元化データベースとして蓄えられた匿名化情報を研究利用することに同意頂いた患者さんのみが対象となります。

個人情報保護に関する配慮：

データベースの情報はすでに研究目的に特に割り振られた研究番号を用いて管理されており、個人情報が公表されることはいかなる形でもありません。また、このホームページにおいて本研究を実施することについて公開し、問い合わせ等に応じます。患者さんからのご希望があれば、その方のデータは研究に利用しないように配慮いたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科

稲本 賢弘

〒 104-0045 東京都中央区築地 5 丁目 1-1

電話番号：03-3542-2511(内線 7058)/FAX 番号：03-3547-5228